

施策マネジメントシート ～平成30年度の振り返りから2019年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do）

（5月中に記入）

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野		ひと分野		担当課		社会教育課				
	政策分野		文化・スポーツ		課長名		中里千秋				
	施策		18 社会体育の充実			重点施策の該当		H30	-	2019	-
施策の目的	対象	市民		意図	スポーツ・レクリエーションを通じて、心身ともに健康的な生活を営むことができる						

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
スポーツ活動に取り組んでいる人の割合(%)	39.7	44.2	41.8 (42)	45 (43)	46 (44)	47 (45)
体育施設利用者数(人)	78,186	84,012	80,005 (85,000)	85,000	85,000	85,000

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
57.8	29	61.2	29.3						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
49.9	19.6	54.7	18.2						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度目標値	2020年度目標値	2021年度目標値
スポーツ・レクリエーションの振興		スポーツ活動に取り組んでいる人の割合(%)	39.7	44.2	41.8 (42)	45.0 (43.0)	46.0 (44.0)	47.0 (45.0)
体育施設の充実		体育施設利用者数(人)	78,186	84,012	80,005 (85,000)	85,000	85,000	85,000

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
・人口減少、少子高齢化によるスポーツ団体の競技人口は減少傾向にあるが、競技自体は盛んに行われている。 ・社会体育施設の老朽化が進んでいることから、安全性を確保するとともに緊急性のあるものについて随時、修繕・改修が必要である。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成 果	・スポーツ交流合宿誘致事業は、スポーツ競技力向上のため、学生・実業団の合宿を誘致しスポーツ交流を実施した。平成30年度実績として10団体、延べ1,272人を誘致した。対前年比で誘致団体及び延べ人数ともに大幅に増加した。
現状・課題	・スポーツ交流合宿誘致事業は、2020かごしま国体に向けた地元選手の強化育成のためにも、さらなる誘致活動に努める。 ・社会体育施設は建設して30年から40年程度経過し老朽化が進んでいる。第6次長期振興計画に基づきながら年次的に改修等進めているが、安全性を確保するとともに緊急性のあるものについて随時、修繕・改修が必要である。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	・「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツやレクリエーションに親しみ、幅広く気軽にスポーツやレクリエーション活動を行うことができるよう社会体育施設の充実と適切な維持管理に努める。 ・スポーツ交流合宿については情報発信を強化しながら誘致に努める。 ・令和元年度に社会教育施設の長寿化計画を策定するので、安全性・緊急性に配慮しながら改修等優先度を決め、随時、修繕・改修を行っていく。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

（6月中に記入）

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	・「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツやレクリエーションに親しみ、幅広く気軽にスポーツやレクリエーション活動を行うことができるよう社会体育施設の充実と適切な維持管理に努める必要がある。2019年度については、社会教育施設の長寿化計画を策定することとなっているので、個別施設の現状を把握しつつ安全性・緊急性に配慮しながら改修等優先度を決めていく。また、スポーツ交流合宿については、地元選手の強化育成にもつながることから、近隣町とも連携を取り積極的な誘致に努めていくこととする。 よって、施設整備及びスポーツ交流合宿に要する経費の増加が見込まれることから、今後の方向性は「拡大・充実」とする。